

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	201
		決裁期日	令和5年5月30日
名 称	令和5年度第1回介護保険事業運営協議会・地域包括支援センター運営協議会 第1回第9期高齢者保健福祉計画介護保険事業計画策定委員会		
日 時	令和5年5月30日（火） 13時00分から14時10分		
場 所	保健福祉総合センターかみん 2階研修室		
出席者	大場会長、萩原委員、山谷委員、檜野委員、谷口委員、大村委員、羽賀委員、奥田委員、岡和田委員、角波委員、深山課長、飯村主幹、加藤施設長、佐藤（智）主任介護支援専門員、西野主任保健師、田中主任、木澤主事、寺田主事（株）ぎょうせい 須藤研究員（ZOOM参加） 計19名		
内 容	<p>令和5年度第1回介護保険事業運営協議会・地域包括支援センター運営協議会、第1回第9期高齢者保健福祉計画介護保険事業計画策定委員会を開催しました。内容については下記のとおりです。</p> <p>○事務局職員自己紹介（異動関係） ○会長挨拶</p> <p>議題</p> <p>1. 令和4年度介護保険事業の運営状況及び令和5年度事業計画について（資料1） 別紙資料1のとおり飯村主幹より説明。 【大場会長】保険給付額は、前年度より減少しているが、第1号被保険者一人当たりの給付費は、3万程増加している。その要因について分析されているか。 【飯村主幹】コロナの影響でディサービス等通所事業所の休止があったことから、訪問サービスや地域密着型サービスが増えたことが要因かと推測されるが、詳しく原因を分析してはいないので、確定はできない。</p> <p>2. 在宅福祉サービスについて（資料2） 別紙資料2のとおり飯村主幹より説明。 【岡和田委員】ボランティア員が不足しているとのことだが、町としてボランティアの育成についてどのように考えているか。 【飯村主幹】除雪サービスの担い手となる高齢者事業団の会員募集について、町の広報に掲載するなど支援は行っているが、昨今は元気な高齢者は、60歳を過ぎても企業で働いている方が多く、なかなか会員増に結び付いていない。</p>		

<p>内 容</p>	<p>時期介護計画の中でもサービスの内容等も含め検討が必要。</p> <p>【加藤施設長】社会福祉協議会で実施しているおたすけサポーターでお手伝いをして欲しい人とお手伝いできる人のマッチングを行っている。有償ボランティアでサポーターには、60分で500円の活動費が支給される。現在30名ほどがサポーター登録をしている。</p> <p>3. 令和4年度地域包括支援センター活動報告及び令和5年度活動計画について（資料3）</p> <p>別紙資料3のとおり加藤施設長より説明。</p> <p>4. 第9期高齢者保健福祉計画介護保険事業計画策定について（資料4）</p> <p>別紙資料4、計画策定に係るスケジュールについてについて飯村主幹より説明。</p> <p>ニーズ調査票・在宅介護実態調査票については、(株)ぎょうせい 須藤研究員より説明。</p> <p>【檜野委員】7月に事業所等のニーズの聞き取りを行うということであったが、コロナ禍で職員や利用者の感染でサービス提供に支障が出たことや昨今の光熱費の高騰で支出が増えていること。現在も介護人材が不足しているが、人口が減少することにより、ますます介護人材が不足すると予測されることなどを踏まえた計画となるよう要望したい。</p> <p>【飯村主幹】コロナが5類に移行したといっても無くなったわけではないので、感染症対策なども考慮したなかで、次期計画の内容について検討させていただく。</p> <p>【羽賀委員】ご家庭で家族を介護している方で、訪問入浴を希望していたが空きがなく、申込より半年経ってやっとサービスが利用できることとなったという方がいるが、どのようになっているか。</p> <p>【加藤施設長】現在、訪問入浴のサービスを提供しているのが、旭川の事業所で週1回富良野方面へ来ていただいている。利用希望に添えない状況があったようであるが、6月より車両が1台増えることとなり受け入れ可能となったことを業者より伺っている。</p> <p>また、入浴の介助を希望される方については、訪問入浴に限らず、デイサービスでの入浴介助、訪問看護やヘルパーによる自宅での入浴介助等、その方の状況に応じたサービスを提案し、担当ケアマネがマネジメントしている。</p> <p>5. その他</p> <p>【加藤施設長】以前の会議で、羽賀委員よりご夫婦で施設入所を希望されている方が、年金だけで入所を継続していくことが難しいとのお話があったが、過去に担当したケースで夫は自身の年金で妻は生活保護を受給し、別々の施設に入所したケースがあった。夫婦それぞれの介護度に応じて、ふくしん等の小規模多機能事業所やヘルパー等の訪問系のサービス、デイサービス等への通所等、様々なサービスを組み合わせながら在宅生活が可能のうちには在宅で難しくなってきた方から施設へとサービスを変更していくなどの方法もある。</p>
------------	---

内 容	<p>6. 今後の予定について</p> <p>本年度は、次期計画の策定作業があることから、例年3回の会議を5回とすることを説明。</p> <p>第2回 8月下旬、第3回 10月、第4回 2月、第5回 3月開催予定であることを確認した。</p>
-----	---